

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)中之島4丁目未来医療国際拠点開発 新築工事	
建設地	北区中之島4丁目	
建築用途	事務所、病院、診療所、集会所(物販店舗・展示場・飲食店)	
建築主		
設計者		
敷地面積	8,600.00	m ²
建築面積	5,162.24	m ²
延床面積	54,987.02	m ²
構造/階数	S造	/ 地上17階
完了年(予定)	2024年1月	

1-2 外観

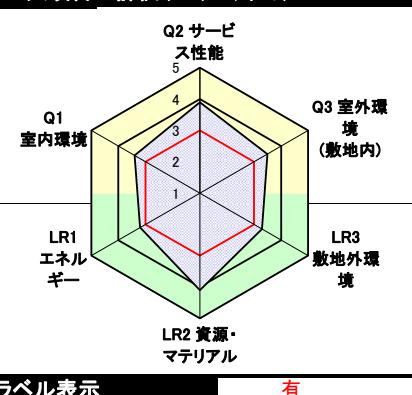
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

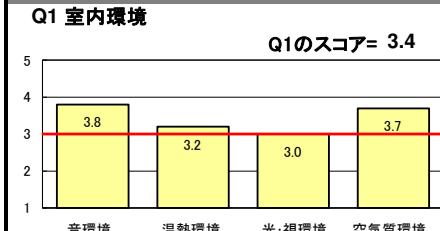


ラベル表示

有

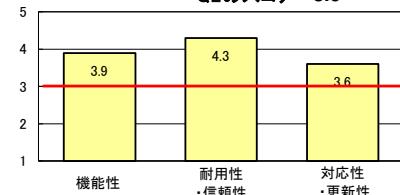
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



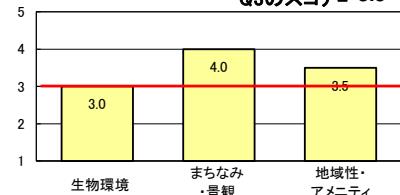
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9



Q3 室外環境(敷地内)

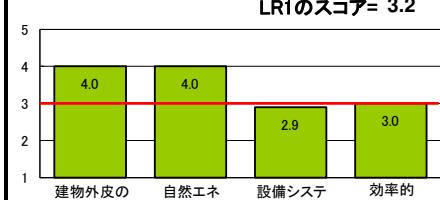
Q3のスコア= 3.5



LR 環境負荷低減性

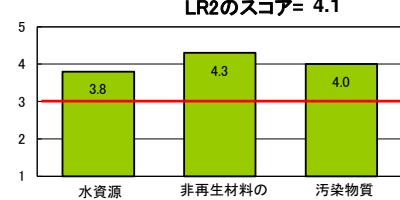
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2



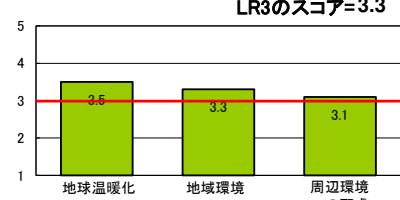
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3



3 設計上の配慮事項

総合

省エネ基準を満たした建物であり、制震や节水の各要素を取り入れている。

その他

特に無し

Q1 室内環境

建物内には光庭を設け、事務室の照明については初期照度補正機能を採用することで、昼光の積極的利用を図った。

Q2 サービス性能

階高は高く計画することで、将来の用途変更等にフレキシブルに対応できるように配慮した。また、長期に建物を使用するにあたり、維持管理が容易な部材選定及び室の配置計画を行った。

Q3 室外環境(敷地内)

植栽は敷地内に可能な限り計画した。また、建物は周囲に圧迫感を与えないよう道から距離を設けて計画し、室外機は排熱に考慮し、大半を屋上に設けた。

LR1 エネルギー

空調熱源として地域冷暖房方式を採用し、BEMSと組合せることで、エネルギーの「見える化」を図った。

LR2 資源・マテリアル

建築部材は特定調達品目及びエコマーク商品を積極的に採用し、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。

LR3 敷地外環境

建設に伴って発生するCO₂の発生量を低く抑えることで、地球温暖化に配慮した。
また、大気汚染防止に寄与する機器の選定を行った。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1) CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3 / 1 / / 地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	LCCO2:85%

環境性能	評価点
(2) みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3 / 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内には可能な限り緑化を計画した。

環境性能	評価点
(3) 建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1 / 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	BPIm=0.90

環境性能	評価点
(4) エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1 / 3 / / 設備システムの高効率化	2.9
配慮事項	BEIm=0.82

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 - (相当)	0.90
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.82	
住宅部分[BEI] -	0.82
非住宅部分[BEI][BEIm]	